

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、『スパークス・少数精鋭・日本株ファンド』は、 このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド受益証券を通じて、株価と実態価値が大幅に乖離(バリューギャップ)している日本企業を中心に20~40社程度に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

リテールBDマーケティング部 電話:03-6711-9200(代表) 受付時間:営業日の9時〜17時

ホームページアドレス: https://www.sparx.co.jp/

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### < 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「スパークスの投資信託」より「投資信託一覧」の当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

# 交付運用報告書

# スパークス・少数精鋭・ 日本株ファンド

追加型投信/国内/株式

第7期(決算日 2020年8月25日) 作成対象期間(2019年8月27日~2020年8月25日)

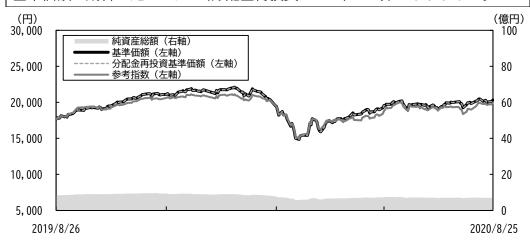
第7期末 (2020年8月25日)				
基準価額	20,320円			
純資産総額	703百万円			
第7期 (2019年8月27日~2020年8月25日)				
騰落率	14.9%			
分配金合計	0円			

(注)騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

### 運用経過

■ 基準価額等の推移 (2019年8月27日~2020年8月25日)

基準価額は期首に比べ14.9%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第7期首: 17,685円

第7期末: 20,320円(既払分配金0円)

騰落率: 14.9%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。
- ※ 参考指数は期首(2019年8月26日)の基準価額に合わせて指数化しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。) を通じて、日本の株式に投資をしております。

マザーファンドは、ボトムアップ・リサーチを通じて、株価と実態価値が大幅に乖離(バリューギャップ)していると判断される銘柄に絞り込んで投資をしました。当期は、投資している一部の企業が、業績を大きく拡大したことなどが好感されました。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、在宅勤務の普及や、訪日旅行客の減少などを嫌気し、不動産関連、鉄道関連の銘柄が下落しましたが、基準価額は市場を上回る結果となりました。

### ■ 1万口当たりの費用明細

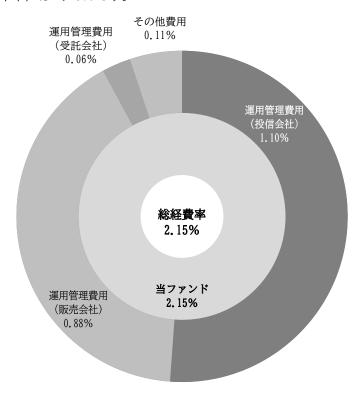
-# H			0010 5		期	0.000			
	項目		2019年8月27日~2020年8月25日			項目の概要			
					金	額	比	率	
(a)	信	託	報	酬		398円		2.038%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
	(投	信	会	社)	(	215)	(	1.101)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額 の算出等の対価
	〔販	売	会	社)	(	172)	(	0.881)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の 送付、口座内でのファンドの管理および事務 手続き等の対価
	(受	託	会	社)	(	11)	(	0.056)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの 指図の実行等の対価
(b)	売 買	委託	£手!	数料		10		0.051	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期 中の平均受益権口数
	(株			式)	(	10)	(	0.051)	・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c)	(c) そ の 他 費 用		用		22		0.112	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均 受益権口数	
	(監	査	費	用)	(	3)	(	0.015)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
	(印	刷	費	用)	(	19)	(	0.097)	・法定書類等の作成、印刷費用
	(そ	0	)	他)	(	0)	(	0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
	合		計			430		2.201	
期	期中の平均基準価額は19,523円です。						•		

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出 した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のう ち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位 未満は四捨五入してあります。

### (参考情報)

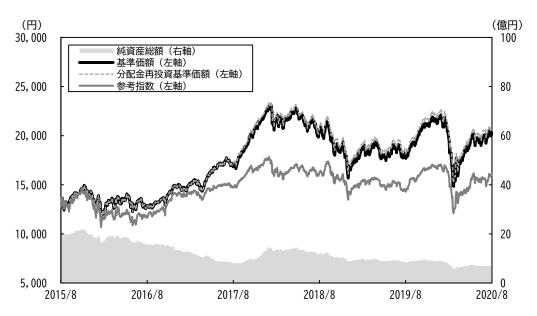
### ○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1 口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は 2.15%です。



- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と は異なります。

### ■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2015年8月25日~2020年8月25日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド 運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 参考指数は2015年8月25日の基準価額に合わせて指数化しております。

		2015/8/25	2016/8/25	2017/8/25	2018/8/27	2019/8/26	2020/8/25
		決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額	(円)	12,696	12,833	16,836	20,536	17,685	20,320
期間分配金合計(税込み)	(円)	-	0	250	250	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	1.1	33.1	23.5	△13.9	14.9
参考指数騰落率	(%)	-	△ 7.0	25.1	10.6	△12.5	12.8
純資産総額(百	ī万円)	1,944	1,585	794	1,201	835	703

<sup>※</sup> 参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。 参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

### ■ 投資環境

当期の日本株式市場は、前半は世界景気の拡大から堅調に推移しましたが、後半は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大によって下落基調に転じたのち、世界的な金融緩和や財政支援によって反転して期を終えました。TOPIX(配当込み)は前期末に比較して12.8%の上昇となりました。

期初の日本株式市場は、米中貿易摩擦に関し、米中協議が進展しているとの報道が好感され、上昇基調でスタートしました。その後、米中協議の進展が、世界景気回復への期待と繋がりました。途中、米国で香港人権・民主主義法案が可決され、株式市場の重荷となりましたが、12月に米中が第1段階の正式合意に達したことから、堅調な動きで2019年を終えました。

2020年、日本株式市場は堅調なスタートを切りましたが、1月下旬から新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大したことを嫌気し、下落に転じました。世界の主だった中央銀行・政府による、金融緩和と景気対策が実行され、株式市場の下支えとなりました。その後、欧米の新型コロナウイルス新規感染者数が減少したことや、治療薬・ワクチン開発の報道などから、経済活動再開の期待が高まり、世界的に株式市場は上昇に転じました。国内でも緊急事態宣言が解除となり、経済活動が再開されました。米国雇用統計の改善なども好感され、日本株式市場は底堅い動きのまま当期を終えました。

### ■ ポートフォリオ

### < スパークス・少数精鋭・日本株ファンド >

当ファンドは、主としてマザーファンドを通じて、日本の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本としています。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。

### < スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド >

マザーファンドではボトムアップ・リサーチに基づき、逆張り的発想で、徹底した調査から、株価と実態価値が大幅に乖離(バリューギャップ)している企業を中心に投資を行いました。

当期中に新規に組入れた主な銘柄は

- ① 市場参加者が注目していないために株価が割安に放置されていた銘柄 具体的には、半導体向け特殊ガスメーカーである関東電化工業、土木比率の高いゼネコンで ある安藤・間など
- ② 短期的な業績不振など、市場に嫌気される要因があって割安に放置されていた銘柄 具体的には、小型建機の大手メーカーである竹内製作所、中堅ファインケミカルメーカーであ る日本化学工業など

一方、売却した銘柄には

- ① 目標株価に到達した銘柄 具体的には、EC業者に対して顧客管理・販促ツールを提供しているバリューコマースなど
- ② 当初想定していたような業績改善が見られなかった銘柄 具体的には、発泡性素材メーカーであるJSP、液晶テレビ向けパネルメーカーである日本電 気硝子など

が上げられます。

が上げられます。

### (主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに対してプラスに貢献した主な銘柄はベイカレント・コンサルティング、MARUWAなどです。

ベイカレント・コンサルティングは、I T系コンサルティングに強みを持つ総合コンサルティングファームです。当ファンドでは、安倍政権による働き方改革や、人手不足による労働生産性改善ニーズの高まりから、I Tコンサルのニーズが拡大していることに注目し、同社に投資しておりました。当期、同社はファンドのパフォーマンスに対してプラスに貢献しました。2020年2月期決算が好調であったことに加え、2021年2月期第1四半期決算も、営業利益が前年同期比+82.0%となったことなどが好感されました。引き続き同社には、追い風が吹いていると思いますが、慎重に業績をモニターして行きたいと思います。

MARUWAは、セラミック加工技術を軸にした、電子機器向け素材・部品メーカーです。ニッチな分野ですが高い世界シェアを持っています。当ファンドでは、自動車の電装化を筆頭に、様々な電子機器における放熱需要の増大に伴い、同社の売上拡大を期待し投資しております。当期、同社の株価はファンドのパフォーマンスに対してプラスに貢献しました。2020年4月に発表された2020年3月期決算では、営業利益が前年度比-2.2%と、会社計画を大きく上振れて着地しました。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念された2021年3月期第1四半期決算でも、営業利益が前年同期比-3.5%であったことなどが好感されました。当ファンドでは、中長期で見れば、電気自動車の増加と共に、同社業績は成長できると考えております。

### (主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスに対してマイナスに影響した主な銘柄はトーセイ、京成電鉄などです。

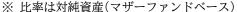
トーセイは、オフィス・住宅・商業施設などの開発・再生・販売・賃貸を行う中堅不動産会社です。 不動産ファンド運営や不動産管理、ホテル運営も行っています。当ファンドでは、競合とは異なる視点で不動産を仕入れている点や、財務規律の高さを評価し、投資しております。当期、同社はファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。2020年7月に通期業績予想の下方修正を発表し、株式市場に嫌気されました。新型コロナウイルス感染症の拡大で、訪日旅行客が激減したことを受け、ホテル資産の評価減を計上したことが背景です。当ファンドでは、現在の同社株価は、中長期での同社の実力を反映しきれていないと考えておりますが、慎重に投資判断を下して行きたいと思います。

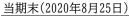
京成電鉄は千葉県北西を中心に営業路線を有する私鉄です。中でも都心部と成田空港を結ぶスカイライナーが収益源となっています。また東京ディズニーランドの運営会社である株式会社オリエンタルランドの創業時からの株主であり、現在も筆頭株主です。当期、同社はファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。2020年7月に発表された2021年3月期第1四半期決算は、営業赤字に転落しています。新型コロナウイルス感染症の拡大で、訪日旅行客が激減したこと、国内でも非常事態宣言が出され、外出が自粛されたことから鉄道収入が大きく減少しました。当ファンドでは、同社が保有するオリエンタルランド株の価値、長期的に考えれば訪日旅行客が戻るであろうことから、株価の下値は限定的であると考えます。慎重に投資判断を下して行きたいと思います。

### 〔組入上位10銘柄〕

前期末(2019年8月26日)

11.3 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	N( (010 + 0) 100 H )	
	銘 柄 名	比率(%)
1	MARUWA	7.2
2	クミアイ化学工業	6.3
3	トーセイ	5.9
4	エフピコ	5.2
5	オルガノ	4.7
6	TOTO	4.6
7	シップヘルスケアホールディングス	4.6
8	ニチハ	4.1
9	ベイカレント・コンサルティング	3.9
10	京成電鉄	3.8



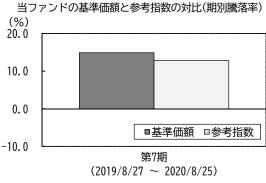


二为	<b>ヨ朔木(2020平6月25日</b> )					
	銘 柄 名	比率(%)				
1	MARUWA	8.6				
2	ベイカレント・コンサルティング	7.6				
3	クミアイ化学工業	6.8				
4	エフピコ	5.0				
5	ТОТО	4.9				
6	三浦工業	4.7				
7	シップヘルスケアホールディングス	4.5				
8	全国保証	3.6				
9	ニチハ	3.5				
10	関東電化工業	3.2				

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

### ■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。 右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数 の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「TOPIX(配当込み)」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

### ■ 分配金

当ファンドは信託財産の成長を目標に積極的な運用を行っていることから、当期の収益分配は見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

### [分配原資の内訳]

(単位:円 1万口当たり・税込み)

	第7期
項目	(2019年8月27日~
	2020年8月25日)
当期分配金	_
(対基準価額比率)	( -%)
当期の収益	_
当期の収益以外	_
翌期繰越分配対象額	10,319

- (注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外 の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があり ます。
- (注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
- (注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み) の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、 ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

### < スパークス・少数精鋭・日本株ファンド >

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の成長を目標に運用を行います。

### < スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド >

今後の運用方針といたしましては、引き続きボトムアップ・リサーチを通じ、逆張り的発想で、株価と実態価値が大幅に乖離していると判断される企業に絞り込んで投資をしていきます。

投資環境といたしましては、世界的に株価の二極化が進んでいるとの報道が散見されます。米国では、テクノロジー企業が多いNASDAQはS&P500指数を大きく上回り、日本でも新興企業が多いマザーズインデックス、国際優良銘柄の構成が多い日経平均株価がTOPIXを上回っております。一部の銘柄に資金が集中し、バリュエーションの格差が広がっています。

投資スタイルでは順張りが奏効し、逆張りは苦戦しています。当ファンドでは、群集からは距離を置き、株式市場が、その企業の成長をきちんと認識できていない状況での投資機会の発掘を継続しています。理由は、「投資とは何を買うかだけではなく、いくらで買うか」が重要であることに加え、「市場参加者の多くが、その銘柄への投資はリスクが低いと思うこと、それ自体が大きなリスクとなる」と考えているからです。当ファンドは、現在の投資スタイルが、長期的にみて優れたリスク・リターンを生み出すと強く信じています。

引き続き、ボトムアップ・リサーチを通じて、魅力ある銘柄を発掘してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

# お知らせ

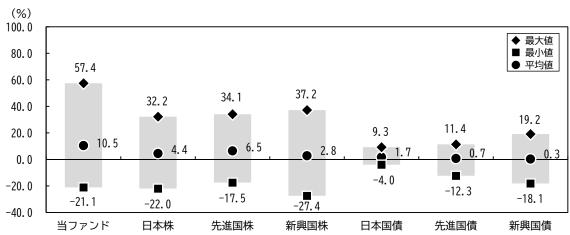
該当事項はありません。

# 当ファンドの概要

商	品	分	類	追加型投信/国内/株式			
信	託	期	間	2013年8月30日から2023年8月25	5日まで		
運	用	方	針	信託財産の中長期的な成長を目	指して積極的な運用を行うことを基本とします。		
主要投資対象		象	当ファンド	スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド受益証券を 主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合 があります。			
				スパークス・少数精鋭・日本株 マザーファンド	金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象と します。		
当運	主としてスパークス・少数精鋭・日本株マザーファンドへの投資を通じて、わが国の金商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークや業種にとらわれず、市場価値独自の分析に基づく本質的な価値との乖離(以下「バリューギャップ」といいます。)がきく、魅力的と判断した中小型株式銘柄群を中心に、20銘柄から40銘柄程度に集中投資行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。また、株式市場の状況によって、大型銘柄により多くの投資機会があると判断される場には、大型株式銘柄にも積極投資します。				の中から、ベンチマークや業種にとらわれず、市場価値とfi値との乖離(以下「バリューギャップ」といいます。)が大!株式銘柄群を中心に、20銘柄から40銘柄程度に集中投資を表しまります。 、大型銘柄により多くの投資機会があると判断される場合		
分	配	方	針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。			

### (参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2015年8月末~2020年7月末)



- (注1) 2015年8月~2020年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- (注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の 基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- (注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### ※ 各資産クラスの指数

日 本 株 ・・・ 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株 ・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株 ・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債 ・・・ NOMURA-BPI国債

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) 新興国債・・・ FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

# 当ファンドのデータ

### ■ 組入資産の内容 (2020年8月25日現在)

### < 組入ファンド >

ファンド名	第7期末
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	99.85%
組入銘柄数	1ファンド



- ※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## ■ 純資産等

項目	第7期末 2020年8月25日
純資産総額	703,436,847円
受益権総口数	346, 186, 342□
1万口当たり基準価額	20,320円

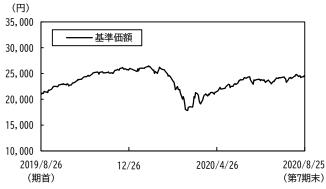
(注) 当期中における追加設定元本額は42,930,951円、同解約元本額は168,984,139円です。

### ■ 組入上位ファンド(銘柄)の内容

【スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド】(2020年8月25日現在)

#### < 基準価額の推移 >

### (2019年8月27日~2020年8月25日)



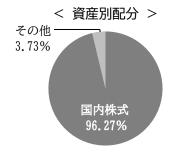
### < 組入上位10銘柄 >

	銘 柄 名	業種	比率(%)
1	MARUWA	ガラス・土石製品	8.6
2	ベイカレント・コンサルティング	サービス業	7.6
3	クミアイ化学工業	化学	6.8
4	エフピコ	化学	5.0
5	TOTO	ガラス・土石製品	4.9
6	三浦工業	機械	4.7
7	シップヘルスケアホールディングス	卸売業	4.5
8	全国保証	その他金融業	3.6
9	ニチハ	ガラス・土石製品	3.5
10	関東電化工業	化学	3.2
	組入銘柄数	35銘	柄

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運 用報告書(全体版)に記載されています。

### < 1万口当たりの費用明細 >

項目	当 2019年8月27日~					
	金額	比 率				
(a) 売買委託手数料	11円	0.047%				
(株式)	(11)	( 0.047)				
(b) そ の 他 費 用	0	0.000				
(そ の 他)	( 0)	( 0.000)				
合 計	11	0.047				
期中の平均基準価額は23,405円です。						







- (注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2020年8月25日現在のものです。
- (注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。
- (注3) 国別配分は、発行国を表示しています。

### 指数に関して

### < 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

### 日 本 株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### 先進国株:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### 新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### 日本国債:NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社およびその許諾者に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

### 先進国債:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### 新興国債:FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同 指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有して います。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。